

第1学年〇組 道徳学習指導案

指導者

- 1 主題名 こころをつなぐあいさつ 低学年2-(1) 礼儀
資料名 「かめさん ありがとう」 (学研)

2 主題設定の理由

- 本主題は、「他の人とのかかわりあいにおける基本的な生活習慣の形成に関するもの」であり、「状況をわきまえて真心のこもった適切な礼儀正しい行為ができる児童を育てようとする」ことを主なねらいとしている。よい人間関係を築くには、まず、気持ちのよい対応ができなければならない。それは、さらに真心をもった態度と時と場をわきまえた態度へと深めていく必要がある。本時は「気持ちのよい挨拶や言葉遣いを心がけようとする心情を育てる」ことをねらいとしているが、これは相手に対する尊敬と感謝の念が必要なことにつながる。

そこで、低学年のこの時期に日々の生活、さらには自分が存在することに対する感謝の気持ちと、それを具体的な行動に表すことの大切さを学ぶことは、大変意義深いと考える。

- 本学級の児童は、学校生活にも慣れ、行動範囲も広がっている。また、友だちとも仲良くできて、学習も進めている。しかし、まだまだ、自己中心的な傾向が見られ、自分の都合だけでものごとを考えてしまいがちである。毎日、学校の門のところで挨拶をしている校長先生やPTAの会長さん、また交通安全を願って見守ってくれている地域の方々を当たり前のように感じている子が多い。

そこで、毎日挨拶をきちんとすることの大切さに気づき、言葉の遣い方や挨拶のよさを学ぶことは意義深いと考える。

- 本資料は、親切にしたかめの立場から、どのようにされると気持ちがよいのかを考える話である。そこには、親切に島まで送ってあげたのに、お礼も言わないたぬきに心を傷つけられたかめがいる。もう一方で、必死に頼んだりすを島まで送って「ありがとう」と言われて、うれしくなったかめがいる。このように対比された形なので、お礼を言われたときのかめのうれしさに共感できる資料である。

本時指導にあたっては、登場人物（かめとりす）になって演技をする場面と、普段の生活を振り返る場面がある。登場人物（かめとりす）になって演技をし、共感的な理解を深めることを通して、ねらいとする価値に迫っていきたい。導入段階では、校門前の挨拶の場面を提示して、挨拶の大切さを意識化させる。展開前段では、資料を紙芝居にすることで場面の状況を捉えやすくする。また、かめが遠い島まで重いたぬきを必死に運んでいくきつさを共感できるように動作化を取り入れる。展開後段では、価値の一般化を図るために自分は挨拶ができていのかどうかを振り返り、価値を内面的に自覚できるようにする。終末では、毎朝児童の登校指導をして下さっている西嶋さんの話を聞くことにより、今後の生活での意識の継続を図る。

3 本時のねらい

気持ちのよい挨拶や言葉遣いに心がけようとする心情を育てる。

- 4 本時 平成20年11月19日(水) 第5校時 第1学〇組教室に於いて

5 地域との関連(地域のひと・もの・ことの活用)

写真(校門前で挨拶をして下さっている校長先生やPTA会長さん、六年生のみなさんの写真)
学校評議員

- 6 準備 「かめさんありがとう」の紙芝居、校門前の挨拶の写真、たぬきのお面、りすのお面
どうとくノート

7 展開

段階	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入	<p>1 あいさつにはどんなものがあるのか考える。</p> <p>○ おはよう、こんにちは、さようなら、行ってきます、ごちそうさま</p>	<p>○ 校門前での挨拶場面の写真を提示し、あいさつの場面を想起させる。</p>
展 開 前 段	<p>めあて</p> <p>あいさつについてかんがえよう。</p> <p>2 資料「かめさんありがとう」を読んで話し合う。</p> <p>(1) だまって行ってしまったたぬきに対するかめの気持ちを話し合う。</p> <p>○ 重たかったのに、ひどいな。</p> <p>○ お礼も言わないでいやだな。</p> <p>(2) りすに「ぼくものせて」と言われた時のかめの気持ちを話し合う。</p> <p>○ きっと、お礼も言わないから、いやだな。</p> <p>○ 遠いし、きついから、やめたい。</p>	<p>○ 教師が紙芝居を読むことで資料「かめさんありがとう」の概要をつかませる。</p> <p>○ たぬきを乗せて必死に泳いでいるかめの様子や気持ちを動作化することでつかませる。</p> <p>○ りすを乗せて泳いでいるかめの様子や気持ちを動作化することでつかませる。</p>
展 開 後 段	<p>(3) かめが、りすにありがとうと言われた気持ちを話し合う。</p> <p>○ また乗せてあげるよ。</p> <p>○ どういたしまして。</p> <p>○ いい気持ち。</p>	<p>○ 教師がりすになって話しかけ、かめの気持ちを発表させる。</p>
終 末	<p>3 自分の生活をふり返り、あいさつをしたり、されたりしたときの経験を出し合い、その時の様子や気持ちを話し合う。</p> <p>○ わからない時、教えてくれてありがとう。</p> <p>○ いっしょに遊んでくれて、ありがとう。</p> <p>○ けしごむ貸してくれて、ありがとう。</p>	<p>○ あいさつの場面を絵で具体的に提示する。</p> <p>○ 日常よくある光景を思い浮かべる。</p>
	<p>4 ゲストティーチャー○○さんの話を聞く。</p>	<p>○ 話を聞くことを通して進んで挨拶をしようとする意欲を高める。</p>

8 板書計画

9 道徳ノート